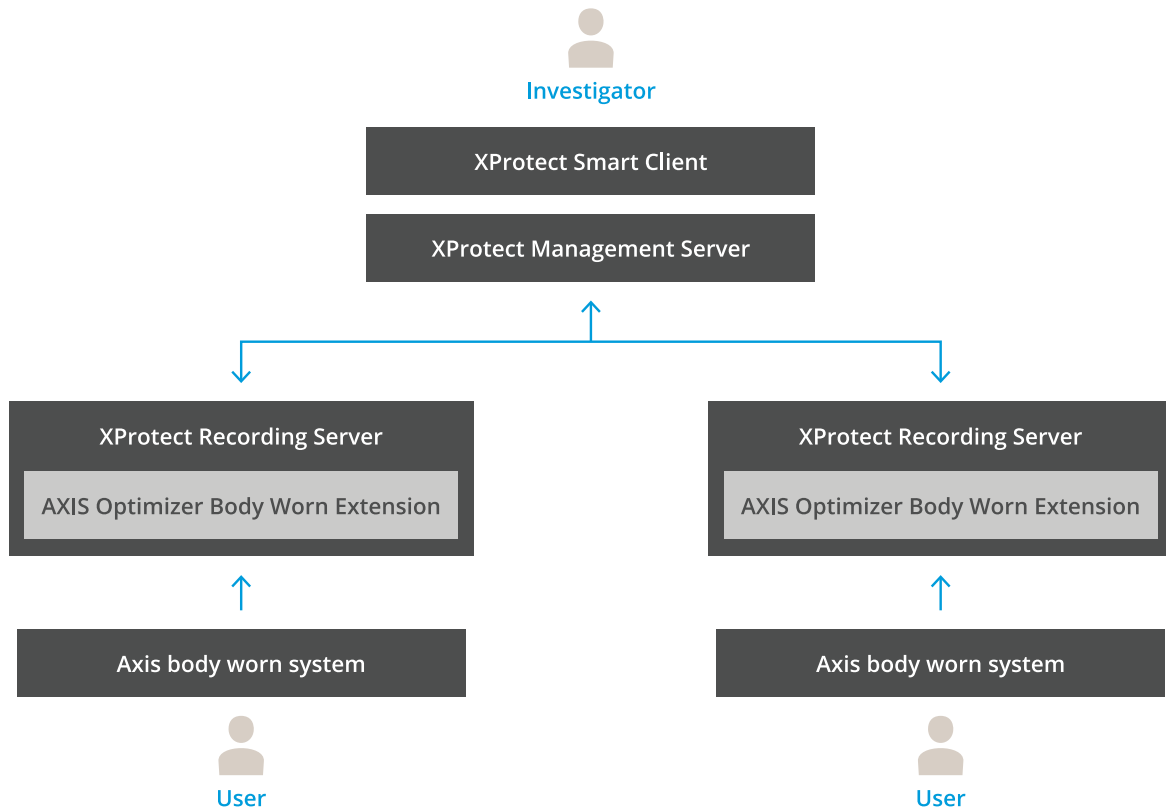


AXIS Optimizer Body Worn Extension

AXIS Optimizer Body Worn Extension

AXIS Optimizer Body Worn Extensionは、Axis装着式システムとMilestone XProtect®の接続を可能にするアプリケーションです。Axis装着式システムから転送されるデータには、映像、音声、検索可能な位置情報、カテゴリ、メモが含まれます。



仕組み

Axis装着式ソリューションは、少なくとも1台のAxis装着式カメラ、Axisドッキングステーション、Axisシステムコントローラー、コンテンツ送信先（この場合はMilestone XProtect®）で構成されます。ソリューションには、AXIS Body Worn Live Self Hosted Serverデバイスを含めることもできます。AXIS Body Worn Managerは、装着式システムを設定して管理するWebアプリケーションです。

Axis装着式システムに新規ユーザーを追加すると、新規ユーザーに対応する新しいハードウェアがXProtect®に作成されます。装着式システムの各ユーザーは、XProtect®で1つのライセンスを使用します。

Axis body worn cameraをドッキングステーションに配置すると、録画の転送が自動的に開始されます。XProtect® Smart Clientで録画が表示されるには、しばらく時間がかかります。AXIS Body Worn Managerでファイル転送のステータスを監視することができます。

各録音の先頭にはブックマークがあります。XProtect®に表示されるブックマークには、次の情報が含まれています。

- カメラ名
- アクティブにする方法（たとえば、ボタンを使用して録画を開始した場合や、落下検知によって開始された場合）
- 位置データ
- AXIS Body Worn Assistantで作成されたカテゴリとメモの注釈

システムモード

AXIS Optimizer Body Worn Extensionでは、Milestone XProtect®との接続を設定する際に、2つのシステムモードから選択できます。

ユーザー中心のシステムモード (推奨)

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式ユーザーを表します。
- 装着式システムの1ユーザーがMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- ユーザーレベルで権限を制御します。
- ユーザーに基づいて録画を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式システム内の装着式カメラを追加、削除、または交換します。
- 装着式ユーザーを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

装置中心のシステムモード

- Milestone XProtectでの各ハードウェア装置は装着式カメラを表します。
- 装着式システム内のカメラ1台がMilestone XProtectでの1ライセンスになります。
- カメラレベルで権限を制御します。
- メタデータやブックマークから録画に関連するユーザー情報を検索します。
- Milestone XProtectでの構造に影響を与えることなく、装着式ユーザーを追加または削除します。
- 装着式カメラを置き換えると、Milestone XProtectで新しいハードウェア装置になります。

注

システムを移行する場合は、現在使用している同じシステムモードを選択してください。

システム要件

- Milestone XProtect® 2020 R2 Corporate以降のバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R2 Professional+以降のバージョン、または
- Milestone XProtect® 2020 R2 Expert以降のバージョン
- Siemens Siveillance® 2020 R2 Video Pro、または
- Siemens Siveillance® 2020 R2 Video Advanced、または
- Siemens Siveillance® 2020 R2 Video Core Plus
- 10 GB以上の空きディスク容量。

重要

常に最新のXProtect Hotfixと累積パッチインストーラーをダウンロードし、適用する必要があります。

使用に当たって

1. *AXIS Optimizer Body Worn Extension* のインストール。
2. 接続を設定する。
3. *Axis body worn system* に接続します。


AXIS Optimizer Body Worn Extension のインストール

1. Milestone XProtect® 録画サーバーを起動し、*AxisOptimizerBodyWornExtensionSetup.exe* を実行します。
2. セットアップウィザードの手順に従います。

注

- ポート 55771 で受信トラフィックを許可するため、インストール中にファイアウォールルールが録画サーバーに追加されます。
- インストール中に XProtect 録画サービスが再起動されます。

接続を設定する

1. タスクバーのアプリケーションアイコン を右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. システムモードを選択します。詳細については、システムモード, *on page 3* を参照してください。後でシステムモードを変更するには、システム全体のリセットが必要です。
4. **[VMS connection (VSM接続)] > [Management server (管理サーバー)]** に、Milestone XProtect® Management Server のアドレスを入力します。

注

Axis 装着式システムとの接続を設定する際は、別の XProtect® 管理者アカウントを使用することをお勧めします。

5. Milestone XProtect® 管理者アカウントがベーシックユーザーの場合、**[Windows authentication (Windows 認証)]** をオフにします。
6. Milestone XProtect® 管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
7. **Login (ログイン)** をクリックします。

注

- Axis 装着式システムとの通信を保護するサーバー証明書を設定する必要があります。選択した証明書には、録画サーバーを識別する DNS 名または IP アドレスを含む、SAN (サブジェクト代替名) フィールドが含まれている必要があります。
- Windows Server 2012 R2 を使用している場合は、手動で証明書を作成する必要があります。
- 8. 以下の手順に従って証明書を選択します。
 - マシンにインストール済みの証明書を使用するには、**[Certificate (証明書)]** をクリックして証明書を選択します。
 - 新しい証明書を作成するには、**[Create a self-signed certificate (自己署名証明書の作成)]** をクリックします。この証明書には、**AXIS Optimizer Body Worn Extension** という名前が付けられ、**[Windows Security – Certificate selection (Windows セキュリティ - 証明書の選択)] > [More choices]** にあります。

重要

- 接続ファイルには、データを自分の Milestone XProtect® システムにプッシュすることができる情報が含まれています。接続ファイルは安全な場所に保管することをお勧めします。

または、Axis装着式システムとMilestone XProtect®間の接続を設定した後、接続ファイルを恒久的に削除します。

- Axis装着式システムとMilestone XProtect®の間に安定した接続を維持するには、Milestone XProtect®録画サーバーのDNS名を使用することをお勧めします。
9. **Create connection file (接続ファイルの作成)** をクリックします。

Axis body worn systemに接続します

注

Axis body worn systemには、最新のファームウェアを使用してください。

1. Webブラウザを使用して、Axis body worn systemにアクセスします。
2. セットアップウィザードの手順に従います。
3. **コンテンツ送信先** ステップで、AXIS Optimizer Body Worn Extension によって生成された接続ファイルをアップロードします。

Axis body worn systemの設定と使用の詳細については、*Axis body worn*ソリューションヘルプセンターを参照してください。

システムの設定

保存期間

Milestone XProtect® で保存期間を変更する


録画が失われないようにするには、XProtect® で保存期間の値を大きくすることをお勧めします。

デフォルトの保存期間 7 日を使用すると、装着式カメラから XProtect® にアップロードされた録画は 7 日を経過するとすべて完全に削除されます。

カテゴリによる保存期間の制御

AXIS Body Worn Assistant (分類と注釈を記録するためのモバイルアプリケーション) で、ビデオのカテゴリを追加できます。AXIS Optimizer Body Worn Extension で、カテゴリの保存期間を指定できます。これにより、Milestone XProtect® Smart Client のカテゴリに関する [Evidence Lock (証拠ロック)] が生成されます。

カテゴリの保存期間を設定するには:

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. [Settings (設定)] を選択します。
3. 既存のカテゴリの [Retention time (days) (保持期間 (日))] を入力するか、または
4. [+] をクリックして新しいカテゴリを追加し、ドロップダウンからカテゴリを選択して、追加したカテゴリの [Retention time (days) (保存期間 (日))] を入力します。


注

- 保存期間は、録画が作成されてから自動的に削除されるまでの期間です。
- AXIS Optimizer Body Worn Extension で設定された保存期間により、最短保存期間が保証されます。XProtect® の録画サーバーまたは装置のストレージ設定で、より高い値に設定している場合は、より長くなる場合があります。
- [Retention time (days) (保存期間 (日))] を [<default (デフォルト)>] に設定されたままにすると、[Evidence Lock (証拠ロック)] は作成されません。
- 保存期間の設定には証拠ロックのサポートが必要です。これは、XProtect® Corporate and Siveillance® Video Pro でのみサポートされます。この設定は他の製品には使用できません。

AXIS Body Worn Live, Self Hosted に接続する

開始する前に

AXIS Body Worn Live, Self Hosted を設定し、使用を開始するの手順に従って装着式システムに接続します。

1. タスクバーのアプリケーションアイコン  を右クリックします。
2. Open connection setup (接続設定を開く) を選択します。
3. AXIS Body Worn Live Self-hosted Server で、サーバーデバイスのアドレス、ユーザー名、パスワードを入力します。
4. [接続] をクリックします。

ライブストリームを録画する

ライブストリームを録画すると、カメラがドッキングされて録画がアップロードされるまで待つことなく、すぐに録画にアクセスすることができます。VMS でカメラの録画がオンになっていることを確認してください。ライブストリームが常に録画されるようにルールを設定することをお勧めします。

ライブストリームの開始時にイベントをトリガーする

ライブストリームの開始を既定イベントとしてルールまたはアラーム定義を作成できるようにするには、以下の手順に従います。

1. Management Clientで [Site Navigation (サイトナビゲーション)] > [Recording Servers (録音サーバー)] に移動し、カメラを選択します。
2. [Events] (イベント) タブに移動します。
3. [追加] をクリックします。
4. [Live Stream Started (ライブストリーム開始)] を選択します。
5. [OK] をクリックします。


注

ルールを作成するときに [Live Stream Started (ライブストリーム開始)] が表示されない場合は、Milestone XProtect®で [Updated hardware (ハードウェアの更新)] 操作を実行することができます。

破損した録画を自動的にオフロードする

カメラに問題があり、録画のタイムスタンプが破損している場合は、ファイルをMilestone XProtect®にオフロードすることが難しい場合があります。このような録画を録画サーバー上のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定することができます。ファイルがフォルダーにオフロードされるたびに、VMSでアラームが発生します。

破損した録画の自動オフロードを設定するには、次の通りにします。

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. [Settings (設定)] を選択します。
3. [Corrupt recordings (破損した録画)] で、[Automatically offload corrupt recordings (破損した録画を自動的にオフロード)] をオンにします。
4. ファイルを保存する場所を選択します。
5. ファイルを保存する日数を選択します。

メンテナンス

システムからユーザーを削除する

1. AXIS Body Worn Manager でユーザーを削除します。

注

ユーザー デバイスが XProtect で無効になり、チャンネルライセンスがリリースされます。ユーザーが録画を表示することはできなくなりますが、録画はそのまま残ります。これらにアクセスするには、デバイスを有効にします。


2. ユーザーが作成した録画が不要になった場合は、デバイスを XProtect® で削除してください。

重要

XProtect®で有効になっているデバイスは絶対に削除しないでください。必ず最初にAXIS Body Worn Managerから削除してください。

新しい自己署名証明書の作成


新しい自己署名証明書の作成します。


1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Open connection setup (接続設定を開く)** を選択します。
3. 現在の証明書で、**[証明書のバインド✕をリセットする]** をクリックします。
4. **[Remove current self-signed certificate (現在の自己署名証明書の削除)]** をクリックします。
5. **[Create a new self-signed certificate (新しい自己署名証明書の作成)]** をクリックします。
6. 新しい証明書を選択する。

新しいサーバーへの移行

1. 装着式システムからユーザーをエクスポートするには、ユーザーのエクスポートを参照してください。
2. 古いサーバーと同じシステムモードを使用して、新しいMilestone XProtect録画サーバーにAXIS Optimizer Body Worn Extensionをインストールします。詳細については、システムモード, *on page 3*を参照してください。
3. カメラハードウェアオブジェクトを古いMilestone録画サーバーから新しいMilestone録画サーバーに移動します。
4. 新しいMilestone XProtect録画サーバーで新しい接続ファイルを作成するには、接続を設定する, *on page 4*を参照してください。
5. AXIS Body Worn Managerで装着式システムに接続ファイルをアップロードします。

トラブルシューティング

システムに異常が発生すると、タスクバーのアプリケーションアイコン  が赤色で表示されます。多くの場合、これは特定の録画、ユーザー、またはカメラに問題があり、システムは他のすべての装着式ユーザーまたはカメラの録画を転送できることを意味します。

アプリケーションアイコン  を右クリックし、[Show error information (エラー情報を表示)] を選択すると、問題の詳細が表示されます。

Management Clientでは、すべてのハードウェアデバイスのステータスを確認できます。各ハードウェアデバイスは、装着式ユーザーまたは装着式カメラのいずれかを表し、カメラ1台、マイク1台、メタデータデバイス1台で構成されています。ステータスの詳細はメタデータデバイスには適用されません。エラーが発生していない限り、常に緑色です。ステータスの違いは、以下の通りです。

緑 - 正常。ライブストリームが作動中です。

黄色、ツールチップ「Connection is broken (接続が切断されました)」 - 正常。ライブストリームは作動していません。

黄色、ツールチップ「Invalid license (無効なライセンス)」 - 問題あり。VMSでライセンスの問題を解決してください。

青色/表示なし - 異常。VMSでデバイスのハードウェアに対して [Replace hardware (ハードウェア交換)] を実行し、デバイスを再起動してみてください。デバイスのステータスが変わらない場合は、サポートにお問い合わせください。

課題	現象	問題の原因と対処法
Axis system controllerに接続できません	AxisシステムコントローラーのWebインターフェースに「Connection failed (接続が失敗しました)」と表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> タスクバー アイコンをチェックして、AXIS Optimizer Body Worn Extension が実行されていることを確認してください。 PCがAxis system controllerから到達可能であり、ポート 55771でトラフィックをブロックしているファイアウォールが存在しないことを確認してください
録画の転送エラー	<ul style="list-style-type: none"> Milestone XProtectのアラームに「Recording transfer error (録画の転送エラー)」と表示されます。 タスクバー アイコンが、何かが動作していないことを示しています。 Smart Client で、録画またはブックマークが見つかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> 録画が転送されるまでに時間がかかる場合があります。アラームがない場合は、待ちます。 XProtect Management Clientを開きます <ul style="list-style-type: none"> XProtect 録画サーバーが実行されていることを確認してください。 Axis body worn装置が動作し、有効になっていることを確認してください。 Axis body worn装置が有効なライセンスを持っていることを確認してください。

課題	現象	問題の原因と対処法
		<ul style="list-style-type: none"> - Management Client で、ハードウェアデバイスを右クリックし、[Replace Hardware (ハードウェアの交換)]を選択します。これによってデバイスは更新されますが、削除はされません。
録画が不完全です	録画の一部が Smart Client ではありません。	録画はチャンク単位で転送されますが、必ずしも時系列順ではありません。転送の最後のステップとして、録画の先頭にブックマークが作成されます。ブックマークが検出されない場合、転送がまだ完了していない可能性があります。転送が完了するまで待ちます。
録画が見つかりません	Smart Client でブックマークは表示されますが、録画はありません。	<ul style="list-style-type: none"> • XProtect 録画サーバーの録画およびアーカイブ設定を確認してください。転送された録画が保存期間よりも古い場合、転送時に直接削除されます。 • AXIS Optimizer Body Worn Extensionの [Settings (設定)] で、さまざまなカテゴリに設定された保存期間を確認してください。 • XProtect 録画サーバーで使用されているストレージの空き容量を確認します。ディスクの空き容量が 5 GB 未満の場合は、自動アーカイブが開始されます。これにより、保存期間やサイズに関わらず、録画が失われる可能性があります。
Milestone XProtect®で位置情報の検索結果はありません	バージョン1.0で追加されたユーザーの位置情報は検索できません。	バージョン1.1以上にアップグレードし、Body worn systemで新規にユーザーを作成します。
	Body worn systemで位置情報が有効になっていないため、GPS座標が、Milestone XProtect®のブックマーク上に表示されません。	位置情報を有効にして使用する方法については、 <i>Body worn solution</i> ユーザーマニュアルを参照してください。
Body worn systemとMilestone XProtect®の間の接続が失われました®	Milestone XProtect®録画サーバーのIPが変更されました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. Optimizer Body Worn Extensionに新しいWindows証明書を手動で作成して選択します、詳細については <i>新しい自己署名証明書の作成, on page 8</i>

課題	現象	問題の原因と対処法
		<ol style="list-style-type: none"> 2. AXIS Optimizer Body Worn Extensionで新規の接続ファイルを作成します、詳細については <i>接続を設定する, on page 4</i>を確認してください。 3. AXIS Body Worn Managerに新しい接続ファイルをアップロードします。
破損した録画が検出されました	Milestone XProtectのエラーメッセージに「Corrupt recording detected (破損した録画が検出されました)」と表示されます。	破損した録画は、録画サーバー上の別のフォルダーに自動的にオフロードするようにシステムを設定します。手順については、 <i>破損した録画を自動的にオフロードする, on page 7</i> を参照してください。
元のライブ録画がありません		<p>カメラをドッキングした後、録画がMilestoneにアップロードされると、元のライブ録画はSmart Clientに表示されなくなります。元のライブ録画を表示またはエクスポートするには、以下の手順に従ってください (Milestone XProtect® 2023 R2以降でのみ利用できます)。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Management Clientで、[Site Navigation (サイトナビゲーション)] > [Recording Servers (録音サーバー)] に移動し、カメラを選択します。 2. [Streams] (ストリーム) タブに移動します。 3. [Use edge recordings (エッジ録音を使用)] の選択を外します。 4. 変更を有効にするには、Smart Clientを再起動します。 5. ライブ録画が不要になったら、[Use edge recording (エッジ録画を使用)] を再度選択します。

注


問題を解決した後、録画が転送され、タスクバー アイコンが緑色になるまで時間がかかる場合があります。転送速度を上げるには、システム コントローラーを再起動します。

さらに支援が必要ですか？

サポートに問い合わせる

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/support/にアクセスしてください。

簡単な対処法を見つけるには、ログを入力します。ログを取得するには:

1. タスクバーのアプリケーションアイコンを右クリックします。
2. **Save logs (ログを保存)**を選択します。

T10149228_ja

2026-05 (M13.2)

© 2020 – 2026 Axis Communications AB